



Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)
1月25日
金曜日
第107号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

目指す先はひとつ ～市町教育委員会との連携～

一人一人の子どもの健全な成長を願い、そのために全力を尽くす。教育委員会の目指すところは、市町でも県でも変わることはありません。一人一人の子どもに関わるものとして、また、教育という分野で県民の皆さんに関わるものとして、市町教育委員会と県教育委員会が連携をすることは大切なことだと考えています。

連携の一つとして、双方の教育委員が顔を合わせての意見交換会を昨年度から実施しています。

この意見交換会では、その時々共通した喫緊の課題、各市町の抱える課題、特色ある取組などを話題としています。今年度大きな問題となったいじめ問題については、県と市の代表者会での話し合いを経て、県と市町が一緒に「静岡県の学校からいじめをなくすための提言」を出しました。また、いじめ対応マニュアルの作成などを進めています。

それぞれの立場から、実情を踏まえた施策の実施・推進状況、その成果と課題などについて意見を交わすことで、情報を共有し、また新たな視点を得ています。互いを更に理解する場でありたいと思います。

場を同じくすることから生まれる一体感を大事にし、同じ方向を向いて、「有徳の人」づくりという大きな目標に向けて一緒に進んでいきたいと思います。

【本年度の意見交換実施状況】 《実施市町等》

- 政令市教育委員
 - 志太榛原地区市町・学校組合教育委員
 - 富士宮市・富士市・御殿場市・小山町教育委員
 - 静岡県・市町教育委員会代表者
- 《主な議題》
- 生徒指導の現状と対策
 - 教職員の不祥事への対応
 - 命を守る教育

*発言要旨は県教育委員会のホームページで御覧いただけます。



志太榛原地区市町・学校組合教育委員 (8/7)



静岡県・市町教育委員会代表者 (9/4)

【教育政策課】

10月には、富士宮市の富士根南中学校で清水エスバリスの平岡康裕選手、吉田豊選手とコーチによるサッカークリニックを開催しました。富士宮市出身の両選手は、故郷の生徒たちと楽しく笑顔でサッカーを楽しんでいました。また、両選手から後輩たちに「キックはもろいですが、ヘディングの強化が大切です。た



杉山祥子選手(小山町出身・北京五輪日本代表)
(9月 富士宮市女子バレー)



清水エスバリス吉田選手(前中央)、平岡選手(後列中央)

（平成24年度派遣講師例）

- 野球(横浜DeNAベイスターズ・本浪出身現役プロ野球選手)
- サッカー(清水エスバリス・ジュビロ磐田・JFAサッカーアカデミー・福島)
- バレーボール(東レアローズ・NECレッドロケッツ・元日本代表選手)
- バスケットボール(シャモンソフマジック・浜松・東三河フェニックス)
- 陸上競技(スズキ浜松AC・オリンピック日本代表選手)
- ソフトボール(静岡・世界選手権金メダリスト)
- 卓球(アスモ) ○新体操(日本代表選手)
- スポーツ栄養指導(株式会社しずスポーツ)



鈴木尚典さん(浜松市出身・元横浜ベイスターズ) (12月東部地区)

最近、自信をなくしてしまっていたけれど、今日教えてもらった自信を取り戻すことができました。いいバッターになれるように頑張ります。

選手たちのプレーがカッコよくて、見ていて楽しかったです。「早くこんなプレーのできる選手になりたい」と思いました。

高等学校は、系統的・計画的な人権学習の最後の機会とも言われ、高校段階での人権教育の一層の充実が求められています。



自尊感情を育てる 人権教育の取組

今回は、人権教育担当として、高等学校で熱心に取り組んでいる静岡市立商業高等学校の原田慶子教諭の実践を紹介します。

人権教育プログラムに取り組んでいます。静岡県の人権教育の目標である「他人の人権を大切にすること」を大目標にする態度や行動力の育成を受け、生徒の自尊感情を高めることをねらいとしました。長所や短所も含めて自分を認め、自分が好きになり、他者への配慮ができる生徒を育てることを最終的な目標としています。

まず自分です。全学年を対象として、ロングホームルームの時間を使い、各クラスでワークショップ「私は○○です」を行いました。過去から現在までの自分を振り返り、自分が何者で

あるかを考えるということです。また、担任からは、自己を肯定的に見ることの大切さを伝えてもらい、自分のことを振り返り、ありのままの自分を受け入れる自己受容へと発展させました。

また、全学年を対象に、NPO法人日本プロフェッショナルキャリアカウ

「楽しかった」「良いところも悪いところも自分自身は自分」「悲観的になりすぎた方がいいという考え方を学んだ」

多くの生徒が、自己を肯定的に見ることの重要性を実感することができたようです。

肯定的に見ることの重要性を実感することができたようです。また、全学年を対象に、実施後のアンケートによると、87%の生徒が自分の良さに気づき、97%の生徒が自分を肯定的に見ることの大切さを実感していることが分かりました。生徒の自尊感情の高まりが実感できたプログラムでした。

また、担任からは、自己を肯定的に見ることの大切さを伝えてもらい、自分のことを振り返り、ありのままの自分を受け入れる自己受容へと発展させました。

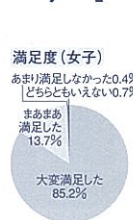
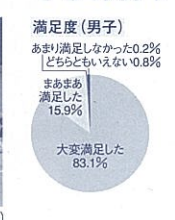


学校生活を紹介する分校の生徒

そして「共生・共育」へ来年度、静岡市立商業高等学校は再編整備により県立駿河総合高等学校になります。その際、静岡北特別支援学校の南の丘分校も併設されます。そのため、今年度は分校の生徒が講師になり、分校の授業内容や学校生活などについて説明をしました。

先生はトッパスリート 中学校の部活動に夢と感動をお届けします

昨年度からスポーツ振興課では、中学校の部活動にトッパスリート等を派遣する事業を行っています。静岡県内にあるトッパスリートや地元企業チームの協力を得て、所属するトッパスリートやコーチ・スポーツ栄養の専門家等から直接指導を受けることで、部活動を活性化することを目的としています。



【スポーツ振興課】

実践NOTE 23

自分と仲間の言葉をつなぐ 国語のノート作り

沼津市立金岡中学校 教諭 高村淳子



今回の学習指導要領でも国語科における言語活動の一層の充実が言われています。国語は全ての教科の、ひいては将来の社会生活の基盤となる、大切なものだと私も考えています。

考える

初説後に「疑問」を持つ練習をしました。疑問を持つことは学ぶ必然性につながります。しかし、意外とこれが高い壁でした。変わったことを言っていた。笑われるかもしれない。と考えるからでしょう。そこで、多くの生徒が持つ疑問を全員で共有し、その疑問を出した生徒が安心してできるようにしました。それ以外の疑問も類似のものとなげ「一人ではない」と思えるように留意しました。

共有する

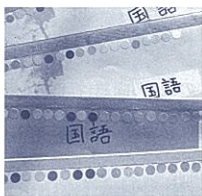
さらに個々の読みや考えを深めるため、共有する活動の課程を加えました。初めは、生徒の書いた文章の展示会と感想メモを書く活動をしました。「ツイッター」のアナログ版という設定にすると、生徒たちは面白がり、「最高」「同意」「いいね」など本物さながらのつぶやきを級友の感想用紙に書き表しました。初のコミュニケーション活動にしては上出来でした。

活用する

単元を貫く言語活動や1時間単位の授業で取り入れる多様な言語活動は、言葉を活用することにつながります。自分を支える言葉の紹介文や主人公になりきって書く手紙、登場人物になりきっての語り、身近な例を挙げた課題解決作文、和歌の作者への返歌、ついで漢詩が読みたくなる本の帯作りなどの言語活動を積み重ねるうちに生徒の反応も多様性を帯び、付けたい力に迫ってきているように感じます。

言葉の力

生徒たちが取り巻く昨今の閉塞した状況を思うと、自分まで苦しくなり、相互評価を行いました。小集団での話し合いも同じですが、メモや話し合いの軌跡は必ずノートに残すようにしました。繰り返すうちに、具体的な良さを挙げて仲間の批評ができるようになってきました。



シールの色が気になります。



仲間の書いた文章にツイートします。

実践NOTE 24

単位制の 定時制高校に 勤務して

静岡県立三島長陵高等学校 主査 鈴木由希乃

本校は、単位制普通高校の定時制高校です。旧長泉高校から移転・改編され、平成20年4月に開校して5年目になります。校舎は7階建てで、本校と、放送大学、静岡中央高等学校東部キャンパスが入る複合施設です。



7階建ての校舎

事務職員の授業見学

本校は単位制のため、「決められた時間割」がありません。生徒は自分が自分を助け、誰かを助けるのだと気付いたら、さっとどんな苦境にも活躍が見出せるのではないかと感じます。生徒たちが言葉で関わることの良さを心のどこかに持ち続けていることを信じ、これからは言葉をつなぐ授業やノート作りを努めます。

「放課後」が無い

本校は3部制の定時制で夜間まで授業があるため「放課後」がありません。放課後がないため、部活動の時間が十分には取れません。しかしその中でも、今年度、卓球部が全国大会に出場、バスケットボール部や柔道部が東海大会に出場するなど、限られた時間の中で、生徒たちの頑張りがうかがえます。

初めてのB勤

本校は3部制なので、先生方の勤務もA・B・C勤に分かれています。事務職員はA勤(8時30分~17時)とB勤(10時45分~19時15分)を1か月交代で行っています。今年度から女性職員も交代でB勤を行うことになり、私も6月に初めてB勤を経験しました。今まで20数年間、昼間の勤務しか経験していません。勤務時間に対する体内時計が狂ったようで、17時を過ぎると、残業する必要があるのに、残っているような変な気分になってしまいました。自分の順応性の無さに情けなくなりました。やっと慣れてきたころには、6月が終わってしまいました。A勤の時も勤務時間を意識できるようにになりました。とんだ生徒が返事を返してくれました。最近、生徒から挨拶してくれることも増えてきました。挨拶は生徒と関われる貴重な機会です。ささやかなことですが、続けていきたいと思っています。



校舎の見回り(筆者)



全国大会・東海大会出場!



文化祭での玄関の飾り付け

研修員	所属校	研究主題 サブテーマ
藤森 三奈	富士市立 岩松北小学校	小学校学年主任が働き掛ける学年経営活性化のための協働体制づくり—学年経営の一助となる「主任ノート」の提案—
安藤 秀樹	島田市立 初倉中学校	経験豊かな教職員の技を若手教職員に伝えていく効果的で実践可能な方法
青木 宏年	沼津市立 大岡中学校	学校教育目標を実現させるための組織マネジメント—「学校を元気にしようプロジェクト」を通して—
中西 直子	小山町立 小山中学校	論理的に書く力を育てる中学校国語科の授業—「読むこと」と「書くこと」の領域関連を図った単元構想を通して—
沖 孝子	菊川市立 六郷小学校	算数科における思考力・表現力の育成—算数的交流活動とノート指導を通して—
岡山 純	三島市立 中郷小学校	特別支援教育の充実につながる「通常学級の授業づくり」—授業における全体への支援を通して—
松浦 幸宏	磐田市立 豊岡北小学校	自分も相手も大切にしたい自己表現でつながり合う学級づくり—「さわやかプログラム」の提案と活用—

学校には、「多様化する児童生徒への対応」「新学習指導要領に対応するための授業力の向上」「教職員の年齢構成のアンバランス」など、喫緊の課題が山積しています。このような諸課題を解決するために、7人の小・中学校教員が1年間学校を離れ、文献を研究したり、手立てを考え学校で検証したりして、研修を深めてきました。その成果を報告します。

7人の報告は、学校が抱える課題を解決するための一助となるはずですが、多くの教職員のお申込みをお待ちしています。

日時 平成25年3月8日(金) 午後1時15分から

会場 静岡県総合教育センター

申込み方法 ■申込み方法 申込書をFAXにて送付ください(申込書は、各小・中学校に2月に配布予定。当センターHPにも掲載します)

■申込み 教職員研修課マネジメン ト研修班 0537(2)49722 0537(2)49727

学校が抱える課題に立ち向かう

~長期研修員研修報告会~

マネートラブルにかつ! vol.2 IDを不正使用され 請求書が!

ネット社会では、IDとパスワードさえあれば本人になりやすくなることが可能です。

複数のサイトで同じパスワードを使わないことや、定期的ログインして接続履歴を調べたり、画面上で個人情報削除しておくなどの備えが必要です。

身に覚えのない請求書が送られる前に、自分でリスク管理を徹底しましょう!



問 県民生活課 054(221)2257

富士山歴史講演会

「富士山の古代祭祀とその背景」開催

身近にある富士山...しかし、実はあまりよく知らないという方も多いのではないでしょうか。そこで、富士山の日にちなむイベントとして、富士山の火山活動・災害と古代の神観・祭祀についての講演を行います。この機会に富士山について学んでみませんか。

◇日時 2月17日(日)午後2時開演
◇場所 県立中央図書館講堂
◇講師 國學院大學神道文化学部 教授 笹生 衛さん



※入場無料、事前申込み不要・先着200人

同時開催! 「富士山麓の遺跡パネル展」

富士山を写し込んだ遺跡の調査写真の数々を展示。

◇期間 2月16日(土)~3月20日(水・祝)
◇会場 県立中央図書館3階展示室(観覧無料)

※常設展「古代からの贈り物」に併設して開催。2月17日(日)午後1時から、職員が「古代からの贈り物」展の展示解説を行います。

「静岡県埋蔵文化財センター発掘調査速報展」開催

当センターが近年調査した成果を展示します。

◇時期 2月9日(土)~3月20日(水・祝)
◇場所 静岡市立登呂博物館1階情報コーナー(観覧無料)

問 静岡県埋蔵文化財センター 054(262)4261

文学の伊豆を満喫する一日

伊豆文学フェスティバルの参加者募集

第16回伊豆文学賞の表彰式、審査員の作家による伊豆文学塾を開催します。表彰式では、審査員による講評、最優秀賞に輝いた作者の「受賞の言葉」を聴いて、受賞作品の優れた点や、作品に込められた思いを知ることができます。

また、座談会は、文壇で活躍する作家の執筆の様子や、伊豆を舞台にした名作の誕生裏話など、プロの作家だから話せる、愉快でしかも含蓄のあるエピソードが盛りだくさん。文学ファン必見の企画です。

◇日時 3月3日(日)午後2時~4時
◇場所 伊豆市天城会館ホール(伊豆市湯ヶ島176-2) (修善寺駅から会場への無料シャトルバス有り)
◇内容 表彰式、審査員(作家)による講評、座談会など (出演:村松友視さん、嵐山光三郎さん、太田治子さん)
◇申込方法 2月22日(金)までに、はがき、FAX、Eメールにて。詳細については、お問い合わせください。

※当日、午前中に「湯ヶ島・修善寺・土肥の3コースでのガイド付き文学散歩」を伊豆市の協力により特別に開催します。(参加料:各コース2,000円・昼食付き)

問・申 県文化政策課「伊豆文学」係 054(221)3109 HP <http://www.izufes.net/IzuFes/>

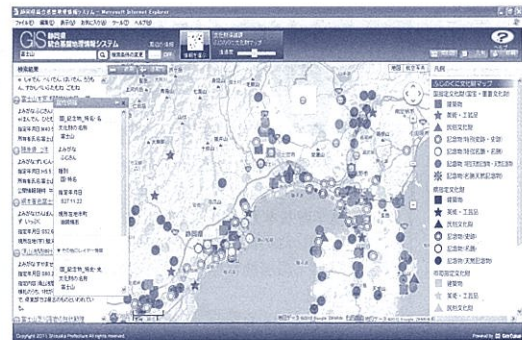


EDITOR

県教育委員会が主催する有識者の人々も、有識者として活躍する方もいます。そこで、100周年の記念として、2面に掲載する有識者の人々も、県民生活課が主催する有識者の人々も、共に有識者の認知度向上を目指し、小さな声でも活躍してください。

御覧ください。

先日、東日本大震災を受けて何か先立ちでも考えて行動しようという声があふきました。今後、東海大震災が起きるかもしれません。静岡県民生活課が主催する有識者の人々も、共に有識者の認知度向上を目指し、小さな声でも活躍してください。



文化財が種別(建造物・美術工芸品・民俗文化財等)により、マップ内に■★▲等の記号で示されます。記号をクリックすると、その文化財の詳細情報が示されます。

文化財ほど通信文化財マップ

文化財は、本来昔の人々の生活や文化を今に伝えるものですが、現在でもその魅力が人々の心を捉えています。東日本大震災では文化財が被災者の心より所になったともいわれます。

県内にも数多くの文化財があります。これらを後の世代に残していくためにも、まずはどこに、どのような文化財があるのかを知る事が大切です。

【文化財保護課】

県内の指定文化財を公開 昨年10月末に県ウェブサイトのGIS(地理情報システム)内に「ふじのくに文化財マップ」を公開しました。マップには、県内の国・県・市町指定文化財のうち、所有者の了解を得た1845件の所在地や種別などの情報が掲載されています。

身近な文化財について皆さんが理解を深めるだけでなく、教員も教材などに活用することができます。本課ホームページからアクセスできますので、御活用ください。

【国語の先生必見!日本の伝統話芸を通して、ことばが生みだす表現力や想像力を知ることができます!】

グランシップ寄席~江戸の人情・江戸の恋~

3/16(土)14:00開演 グランシップ 6階交流ホール

毎回、季節に応じたテーマで人気の「グランシップ寄席」。

今回は、端正な語り口で落語家さても聴かせる春風亭小柳枝、役者のような顔立ちと艶のある語り口で女性ファンが多い若手実力派・古今亭菊之丞に加え、紅一点、日本髪と着物で海外でも活躍している松山うめ吉が出演。静岡では出演機会の少ない実力派がグランシップに勢揃い。

斬新が生みだすことばから想像力をふくらませて、その情景をイメージして楽しむという日本語ならではのことばの魅力を堪能できます。

全席指定/一般3,000円 学生1,000円 高中生観賞プラン800円
[チケットのお申込み・お問い合わせ] グランシップチケットセンター 054-289-9000
グランシップホームページからも購入ができます。(高中生鑑賞プランを除く)



春風亭小柳枝



古今亭菊之丞



松山うめ吉

主催:財団法人静岡県文化財団、静岡県

